

令和2年度第4回理事会議事録

1. 日 時：令和2年8月19日（水）18:00～19:00
2. 出席者：齋藤浩治、奥沢悦子、野坂知加、吉田泰憲、逆井久美子、野呂美鈴、川口裕美、高松みどり、細川和子、番場隆彦、米沼順子、神山哲哉、河村義雄、本田昌樹、三上英子、太田孝雄
3. 欠席者：石山雅大、木村正彦、吉岡拓朗、吉岡治彦、

定款第5章第32条及び諸規定により、議長に齋藤会長があたり、書記に高松理事が指名され、審議が行われた。審議は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により、オンラインで行われた。

【報告事項】

1. 学術部経過報告

石山学術部長が欠席のため、齋藤会長より研修会の開催について報告があった。

基本的に研修会は開催しない。ただし各支部・各部門の研修会を開催する場合は、基本WEB研修となり日臨技のガイドラインに沿って①生涯教育に事前登録、②日時を限定し公開、③出席確認を兼ねたレポートの提出で履修登録とすることとなった。どうしても集合研修を実施する場合は日臨技のガイドラインに沿って感染対策を十分に行った上で、広い部屋で収容人数の50%以下を目安に実施すること、日程を齋藤会長に報告することとなった。

理事に了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。

2. 公益部経過報告

奥沢公益部長より特になしとの報告があった。

3. 渉外部経過報告

木村渉外部長が欠席のため齋藤会長より特になしとの報告であった。

【議題】

1. 理事日当について

齋藤会長より、理事や部門長等の日当増額と県内の技師講師料の増額について提案があった。

理事日当は、半日2000円、1日4000円とし、講師料30分以内5000円、30～60分8000円、1時間以上10000円に増額することとなった。

理事に了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。

2. 「臨床検査技師への業務の移管や共同化に係る意識調査」の協力依頼について
齋藤会長より医師の働き方改革等の医療提供体制の改革に当り、他職種の医療従事者の合意形成のもとでの業務移管や共同化が掲げられています。その中で臨床検査技師のタスク・シフト/シェアする予定の業務について、既に業務としている医師、看護師の意見を聞き、教育、研修での患者接遇や職種間連携、医療安全等の要点を明らかにすることを目的とした調査が実施されることになり、都道府県技師会へ協力依頼があった。

各項目の最低n数1000となっており、各県で30件ずつの回答をお願いされている。回答率をあげるため印刷したものを医師、看護師へ配布し、代理入力するのがいいのではないかと考えている。一人が全部に答える必要は無く回答可能な項目だけ回答してもらってもよい。締め切りは28日になっている。各施設のノルマは特に設定していないが、件数を把握するため何件入力したのかを齋藤会長に報告してほしい。

理事に了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。

3. 69JAMT 情報交換会におけるビデオメッセージについて
齋藤会長より「オール北日本支部」を目指しこれまで協力いただいたことを会場の皆さんと共有するため北日本の各道県からのビデオメッセージを情報交換会で上映することになり、ビデオメッセージ作成依頼がありましたと説明があった。3分程度のものですがどのようなものを作製したらいいか意見を頂戴したい。期限が31日までのため、今週末までにいい案があればお知らせください。

4. 「令和4年度診療報酬改定に向けた要望調査のお願い」について
齋藤会長より、今月中に各施設でとりまとめ改定の根拠も含め要望調査回答記入票に入力して報告してください。最終的に取りまとめたものを技師会として提出することにします、と提案があった。

理事に了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。

5. 精度管理について
石山学術部長が欠席のため齋藤会長より説明があった。青臨技の精度管理は昨年と同じような日程で実施したいと考えている。他県では新型コロナの影響で精度管理が実施できないところもあるようですが、青森県の場合は医師会の精度管理も含め実施し

ます。

日程は

9月初旬 部門長、精度管理員へ依頼
10月中旬 各施設へ参加募集
10月29日（木）までに青森市民病院に試料到着
10月30日（金）発送準備
11月2日（月）試料発送
11月20日（金）回答締切
とする予定との報告があった。

理事に了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。

6. その他

齋藤会長より 1)、2) の項目について説明があった。

1) 今後の理事会について

しばらくはWEB開催での実施を考えています。

2) 新型コロナウイルス関連

県内で核酸増幅検査基礎研修終了16名、検体採取の実技研修は自施設で行い修了者1名となっている。基礎研修は日臨技、実技講習は各都道府県単位に任せられているが、青森県は準備が進んでいないのが現状です。PCRやLAMP法検査を開始している施設も増えていると思うので、今現在は自施設で実施する方向でお願いします。

3) 本田理事より各支部の活動について

研修会以外の懇親会や納涼会などの行事は実施しないでよいか。

齋藤会長より研修会以外で人が集まることはやめてほしい。支部で研修会を行う場合はWEB研修又は広い会場での少人数での実施にしてほしい。

できれば1回は研修会を実施してほしいという希望は持っている。

5) 細川理事より健康祭り等への参加について

中止になっている健康祭りもありますが、まだ未定の健康祭りがあります。

例年血糖測定など対面でやる検査が多いので、参加をどうしたらいいのか、と質問提案があった。河村理事より八戸地区では支部役員で話し合った結果、参加を見送ったと報告あり。奥沢理事より無症状でも新型コロナに感染している可能性がある。健康祭りに来る方は不特定であり、背景もわからない。医療従事者としてリスクは避けるべきではないかと提案。齋藤会長よりやはり今年不参加とすること

としたいと提案があった。

理事に了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。

議長は以上をもって審議を終了したことを告げた。

会長

印

幹事

印

印